

挫折経験、たくましい人間に

小野運送店（東京都品川区）

社長 小野 正彦

経営・政治・歴史分野の本を中心に、経営者として学ぶと共に、社会人として教養を高めるために読んでいる。

丹羽宇一郎の『汗出せ 知恵出せ もっと働け！』『若者のための仕事論』。丹羽氏は伊藤忠商事社長時代、業績をV字回復させたが、ただ、順風満帆な社歴ではなく、食料関連事業では挫折も経験した。それが一層たくましい人間への成長に役立ったのではないか。芯の通った考え方、良識が魅力だ。

孫正義の『リーダーのための意思決定の極意』。何より、旺盛なチャレンジ精神に舌を巻く。やると決めたら徹底的にやる。勝ち取るまでやり抜く。拡大一辺倒ではなく、事業運営に信念を感じる。

カルロス・ゴーンについて書かれた『ゴーンさんが学んだ日本の経営』。ゴーンは徹底したコスト管理、合理化を進め、現場も大事にした。会話力としがらみのなさが業績回復に結び付いたのだろう。

政治関係では、竹中平蔵の『構造改革の真実 竹中平蔵大臣日記』



『闘う経済学』。自由競争を押し進め、批判も少なくなかったが、自助努力の精神に立った考え方に共感する。「勝ち組・負け組」「格差」が声高に叫ばれたが、日本は他国と比べ、本人の努力次第でチャンスをつかむことが難しくない国だ。

江田賢司の『財務省のマインドコントロール』。理路整然としている。好きな政治家の一人だ。官僚機構にも精通しており、官僚を上手に使いこなせるだろう。総理大臣の器、期待している。中川秀直の『官僚国家の崩壊』も面白かった。

バラク・オバマの『合衆国再生』。オバマ氏の魅力は、豊かな表現力。俳優のような演説力が多くの人を引き付ける。著書を読んでいると、本当の自信や信念を持った人の言葉には説得力があると感じる。2期目に入ったオバマ氏に大胆な政策実現を期待したい。